

# さみどり

二宮町立一色小学校 学校だより  
令和4年度 第4号 (12/23発行)



一色小学校は創立57周年となります。

2022年もあと少しで終わりとなります。まだまだ感染症対策をしながらの学校生活ですが、2学期は比較的落ち着いた中で、様々な学校行事等も行うことができました。子どもたちには、教室で座って行う学習だけでなく、様々な体験の中で、学びを深めていってほしいと思います。

## 2学期の各学年の様子は…

1年生は、2学期もサポーターさんのご協力のもと、休み時間の「友情の山で遊ぼう」や「スマイルルームタイム」など、楽しく充実した学校生活を送ることができました。生活科では、夏と秋にサポーターさんと一緒に久杉公園に行ったり、校内の畑でサツマイモ堀りをしたりしました。



ICT 支援員さんと取り組んだタブレット学習では、お絵描き、写真のアルバム作成、プログラミングができるようになり、国語や生活科の学習の中で、それを活用することもできました。毎日、増え、成長が感じられます。



2年生は、国語で学習した『お手紙』の音読劇をしました。グループごとに何度も相談して練習を重ねていきました。登場人物の気持ちになって音読をしたり、状況に合わせて動作を加えたり、自分たちで考えて、たくさんの工夫を凝らすことができました。1年生や5年生、なかよし・ひまわり級の皆さんも見に来てくれた発表会では、温かい感想をもらい、がんばった一人ひとりが達成感あふれる表情をしていました。



3年生は、総合的な学習の時間で、「大豆プロジェクト」に取り組み、大豆について学びを深めました。育てていた大豆を無事収穫することができました。実際に育っていく様子を見て、枝豆から大豆に熟成して変化していく様子も分かりました。また、タブレット端末を用いて、必要な情報を検索して調べる学習や、調べたことを新聞にまとめる学習も行いました。見出しを工夫したり、イラストを用いたりして、読み手が楽しめる新聞作りができました。



4年生は、「水源地域活性化交流事業」で、相模原市立鳥屋小学校と交流をしました。10月には宮ヶ瀬ダムにほど近い鳥屋小学校を訪ね、森林に囲まれた体育館でレクリエーションを楽しみました。11月には二宮町へ招き、一緒に一色の農園でミカン収穫体験、一色



小では手作りの段ボール迷路や友情の山のクイズラリーなど、楽しい時間を共有しました。他校との交流という貴重な体験で、ひとまわり成長することができました。

5年生は、総合的な学習の時間で、1学期に植えた稲の収穫、脱穀、もみすり、精米をすべて手作業で行いました。脱穀や精米は初めて行う児童が多く、最初は苦戦していましたが、段々と慣れてきた様子で要領よく行う姿が見られました。また、家庭科の調理実習で、自分たちが収穫したお米を鍋で炊き、美味しく食べました。体験を通して、米農家の方々の日々の努力や工夫を知り、感謝して、一粒も残さず食べたいという感想が聞かれました。



6年生は、総合的な学習の時間に、「人権について考えよう」をテーマに取り組んできました。話し合いが活発に行えるようにグループワークから始め、話すこと、聞くこと、それぞれの役割、グループで協力することの大切さを実感し、授業参観では、保護者の方々と一緒にグループワークに挑戦しました。インターネットにおける人権、子どもの人権、外国籍県民の人権、障がい者の人権など、様々なテーマを取り上げ、自分で考えたり友だちと話し合ったりしながら、理解・考えを深めていきました。中学校への進学を前に、とても大事なテーマについて考えることができました。



なかよし・ひまわり級では、自分たちで収穫したサツマイモで焼き芋を行いました。やる前からずっと楽しみにしていた行事です。準備にも時間をかけて、枝や落ち葉を集めたり、必要な道具を運んだり、生き生きと活動していました。焼き芋を焼いているときは、待ちきれずそわそわしながら、みんなで楽しく食べることができました。「おいしい！」と笑顔いっぱいでした。



裏面は運動会特集です。

## 令和4年度運動会

11月3日(木)、秋晴れのすばらしいお天気の中、運動会を行いました。全校で実施できたこと、そしてコロナ対策として参観のご家族には受付証を出していただきましたが、人数制限もなく、昼食も家族で食べることができたことは、一色小だからこそできたことだと思います。



「167人でベストをつくせ ニョッキッキー」のスローガンのもと、一人ひとりが自分自身のベストを尽くしてがんばりました。また、自分だけでなく、クラスの仲間、他の学年の人たちのがんばりをた

たえ合う姿も見られました。子どもたちは、各学年の種目はもちろん、応援合戦、そして高学年は係の仕事もよくがんばっていました。準備や片付けも、低学年のイスを運んであげるなど、すてきな姿がたくさん見られました。

### <1・2年生>

「チェッコリ玉入れ」のダンスでは、かわいい姿にみんなにっこり。見ている3～6年生も、弟や妹を応援に来ていた中学生も、一緒になって踊っていました。すばらしい一体感が会場全体に広がり、これこそ一色小学校だと感じました。



1年生は、初めての運動会をみんなで楽しむことができました。他学年と取り組む楽しさや他学年の温かさを感じたり、「かけっこ」や赤組白組の勝敗に、嬉しさと悔しさを感じたりしていました。運動会后、「楽しかったあ!」「また、すぐ運動会やりたい!」と話していました。

2年生は、1つ先輩になって迎えた運動会で、一人ひとりが一生懸命にがんばっていました。練習のときから、1年生のお手本になってダンスを教えたり、去年よりもキレイで踊ることを意識したりと、1年生をリードしながら、楽しく取り組むことができました。



### <3・4年生>

「いざ・二種目」では、何度もあきらめずにカードをひっくり返し続ける粘り強さ、そして飛びつき綱引きでは、笛が鳴ったらその場に縄を置いていく潔さも見られました。

3年生は、どちらの種目も全力で取り組みました。3年生の全力プレーは、とても気持ちがよいです。さらに、ルールを守って正々堂々と取り組む姿、チームで協力する姿も見られ、低学年からの大きな成長を実感しました。



4年生は、自分たちの種目を思いっきり楽しむだけでなく、係で忙しい5・6年生に代わり、児童席の1～3年生を責任もって見守り、声かけをしていま



きました。来年度は自分たちが…という自覚ももつことができました。

### <5・6年生>

「一色ソーラン2022」は、気合十分、楽しみながらかつ真剣に踊っている姿は、見ている人に感動を与えました。はっぴ姿もかっこよかったです。

5年生は、高学年として参加した初めての運動会でした。係の仕事にそれぞれが責任感をもって取り組むことができました。ソーラン節では、練習の際に6年生から学ぼうという意識で6年生の踊る姿をしっかり見たり聞いたりしていま



ました。当日は、伝統ある一色ソーランを6年生とともに踊ることができて、達成感がありました。

6年生は、小学校生活最後の運動会。去年教えてもらったソーラン節を、今年は5年生に教える立場になりました。「一人ひとりが輝くソーラン節にしよう」という思いを意識しながら、縦割り班を活用して、熱心に丁寧に、練習に取り組みました。本番でも、精一杯のパフォーマンスを披露できました。係活動や1年生のイス出しの手伝い、片付けなど、最上級生としての役割をしっかりと果たし、最高の運動会となりました。

